

令和7年度 第2回神戸市いじめ問題審議委員会

日時 令和8年3月10日(火)15:30～
場所 神戸市総合教育センター701号室

次 第

1 開 会

2 報 告

(1) 神戸市いじめ対応のための実施プログラム進捗状況について

3 協 議

(1) 神戸市いじめ対応について

(2) その他

4 閉 会

令和7年度 第2回神戸市いじめ問題審議委員会 議事要旨

令和8年3月10日 15:30~17:30

神戸市総合教育センター 701号室

1. 開会

- ・神戸市いじめ問題審議委員会（以下：審議会）委員7名が参加、審議委員会規則に基づき本審議会が成立したことを確認

2. 報告

(1) 神戸市いじめ対応のための実施プログラム（以下：プログラム）の進捗状況について

【事務局からの報告】

- ・令和6年度からプログラムは長期目標となっているため、令和7年度も長期目標の項目について取組を進めた。
- ・令和7年度は、特に「学校チーム力向上」「いじめ未然防止学習の推進」「児童生徒が主体的に取り組むいじめ防止内容の共有」の3点について、重点的に取り組んだ。
- ・「学校チーム力向上」については、生徒指導係教員向けの研修の内容充実を図った。
- ・「いじめ未然防止学習の推進」については、子供たちが主体的に学習に取り組めるよう、各区で研究授業を行った。
- ・「児童生徒が主体的に取り組むいじめ防止内容の共有」について、神戸いじめ防止フォーラムを開催し、代表校の取組について情報共有を行った。

【審議会による意見等】

- ・神戸いじめ防止フォーラムで発表した子供たちは、自分たちの学校生活をよりよくすることについて、一生懸命考えていた。また、日々の人間関係をどのように解決していくかについて主体的に考えていた。今後もそのような視点でいじめ未然防止について考えてほしい。また、保護者へも広報してほしい。
- ・生徒指導係教員は、各校で必ず生徒指導の研修を行っているのか。どのような研修資料を使っているのか。
→各校で課題が異なるため、課題を明確にして研修を行っている。研修資料は生徒指導提要や、いじめ重大事態事例集等、研修テーマに応じて選択している。
- ・いじめ防止について考える際、例えば中学生が小学生にいじめについて教えるのもよい取組ではないか。小中学校が連携していじめ防止について考えることは大切である。
- ・児童生徒が主体となっていじめ防止について考える取組は素晴らしいが、なかなか意見が言えない児童生徒もいるため、全ての児童生徒が受け入れられる学級・学校づくりを推進してほしい。
- ・今後の研修について、いじめへの対応研修だけでなく、全ての児童生徒にとって楽しい学校づくりを行う研修を行ってほしい。

----- 審議委員会規則に基づき以下非公開 -----

3. 協議

(1) 神戸市いじめ対応について

(2) その他

4. 閉会